

第8回北谷町地域公共交通会議議事録

- 1 開催年月日：平成31年1月29日（火）
- 2 会議時刻：10時00分から
- 3 会議場所：北谷町役場3階庁議室
- 4 出席委員
 - (1) 神山 正勝 北谷町副町長
 - (2) 西倉 浩 内閣府沖縄総合事務局運輸部陸上交通課長
 - (3) 三宅 亮 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長
 - (4) 山城 修 内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所副所長
 - (5) 宮城 栄喜 沖縄県中部土木事務所計画調査班班長※代理出席
 - (6) 呉屋 厚 沖縄県警察沖縄警察署交通対策課長
 - (7) 仲宗根 仁志 北谷町自治会長連絡協議会会長
 - (8) 岡村 悦子 北谷町美浜区自治会会長
 - (9) 名嘉山 敬雄 沖縄バス株式会社運輸部業務課長
 - (10) 仲間 直克 株式会社琉球バス交通業務課係長
 - (11) 慶田 佳春 一般社団法人沖縄県バス協会専務理事
 - (12) 喜屋武 悟 私鉄沖縄県労働組合連合会執行委員長
 - (13) 新垣 馨 沖縄交通事業協同組合営業部長代理※代理出席
 - (14) 米須 義明 北谷町商工会会長
 - (15) 屋比久 里美 北谷町観光協会会長
- 5 欠席委員
 - (1) 神谷 大介 琉球大学工学部環境建設工学科准教授
 - (2) 大城 幸和 那覇バス株式会社業務部次長
 - (3) 津波古 修 沖縄県ハイヤー・タクシー協会事務局長
 - (4) 玉城 清松 北谷町老人クラブ連合会会長
- 6 事務局
 - (1) 北谷町役場
 - ① 仲松 明 企画財政課長
 - ② 照屋 光司 企画調整係長
 - ③ 田仲 康人 企画財政課主任主事
 - ④ 仲嶺 勇樹 企画調整係員
 - (2) ランドブレイン株式会社

- ①東 満伸 沖縄事務所所長
- ②瀬戸 慎一 公民連携グループ主任
- ③尾池 大祐 研究員

7 説明又は意見を求めるために出席した者：なし

8 傍聴人：1名

9 議 題

- (1) 北谷町コミュニティバスの利用状況等の検証・分析結果（報告）
- (2) 平成31年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画について

10 会議資料

- (1) 次第
- (2) 座席配置図
- (3) 第7回北谷町地域公共交通会議 議事要旨
- (4) 北谷町コミュニティバス本格運行検討調査（平成31年1月29日）

11 会議内容

議長：	<p>1. 開会</p> <p>みなさん、おはようございます。年も明け2019年1月になりまして忙しい月ではありますが、出席頂きまして大変感謝申し上げます。本会議は北谷町のコミュニティバスの実証実験について、各方面の方と協議を行うために設置した場所です。現在、運行しているコミュニティバスは平成29年6月にスタートしまして、1年7ヵ月が経過しました。この間のデータ等を分析し、みなさんにこれまでの報告をしまして、今後どうしていくかについて協議をお願いしたいところでございます。</p> <p>それでは第8回北谷町地域公共交通会議に入りたいと思います。まず事務局から会議の成立について報告をお願いします。</p>
事務局：	<p>委員19名中15名が出席していますので会議の成立を宣言したいと思います。</p>
議長：	<p>本日の会議は、北谷町地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立しています。次に会議録署名委員を指名させていただきます。本日の会議録署名委員を仲宗根委員をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>委員～異議なし～</p>
議長：	<p>それでは、よろしくをお願いします。</p>

	<p>2. 本会議の経緯及び趣旨説明</p>
議長：	<p>本日の会議の趣旨説明とこれまでの経緯について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局：	<p>本会議の経緯及び趣旨説明</p>
議長：	<p>第7回公共交通会議の議事内容の報告と今回提案されている議題の報告がありました。続いて、北谷町コミュニティバスの利用状況等の検証・分析結果について報告をお願いします。</p>
	<p>3. 議題</p>
事務局：	<p>議題（1）北谷町コミュニティバスの利用状況等の検証・分析結果について（報告）</p>
議長：	<p>ただいまの報告について質疑がございましたらよろしくをお願いします。</p>
委員：	<p>一番の目的である交通不便地域のコースやバス停をどのように決めたのでしょうか。この設定によって交通不便地域がどのように解消に向かっているのか、地区の特徴と併せて説明願います。</p>
事務局：	<p>コミュニティバスは北コースと南コースに分かれています。北コースは、砂辺地区、美浜地区、役場、桑江、上勢区を通り、北部を通るコースとなっています。南コースは北前区、美浜地区、役場、桑江を通ったあとに、北谷町でも最も坂の多い北玉、謝苺、玉上を運行している。公共交通の空白地域については、路線バスは11路線走っているところですが、北玉など傾斜のきつい地域は公共交通不便地域と認識している。バス停の配置については、高齢者でも抵抗なく歩ける200m以内で配置できるように設定している。</p>
委員：	<p>買い物に行きたい年配の交通弱者の意見として、運行時間が長いと聞いている。台数を増やして県道24号のピストン運行や砂辺と北前のピストン運行などの意見がある。1台逃すと1時間以上待たなければいけない状況で地域からそのような意見が出ている。</p>
事務局：	<p>29年度の町民アンケートにおいても便数の増加に対する要望が多くなっていた。</p>
議長：	<p>アンケートでも意見が上がっているが利用率との兼ね合いもある。便数を増やしたいが利用者が少ないことが課題となっている。</p>
委員：	<p>通勤利用者がいない理由として、運行時間が長いので使いづらい。通勤利用者のことを考慮して欲しい。また、北谷高校にバス停を置いたとしても、町内出身者が少ないのではないかと。町内出身者が多いのであれば、利用が増えるようにピストンさせるなど工夫が必要ではないかと。また、タクシーに4名で乗ればバスよりも安くなる。4名以上で旅行に来ているグループにバスを勧めることもできるので、情報を親切にあげることで観光</p>

<p>委員：</p>	<p>客の利用が増えると思っている。観光客の中でも中国系はレンタカーを持っていないのでバスを利用している。コミュニティバスは魅力的なものであるため、収支率 25%を達成できるように効果が上がる取組を行って欲しい。</p> <p>10 頁には「北谷高校への通学時間に合わせたことにより、老人福祉センターへのアクセス利便性が低下し、利用者などからダイヤの再考を求める強い要望があった」とあるが、19 頁には「利用者の多くが高齢者で、様々な交流の場への参加促進による健康増進や生きがいがづくりへの貢献といった効果を発揮」と書いてあり、書きぶりに矛盾が生じているが、どうしてなのか説明願う。</p>
<p>事務局：</p>	<p>アンケートと考察の時期がずれてしまっている。29 年度のアンケートをもとに 19 頁の考察を書いている。29 年度は 10 時頃に合わせ、30 年度は 14 時に合わせたこともあり、29 年度に 10 時に合わせていた方から、不便になったと意見が出ている。</p>
<p>議長：</p>	<p>19 頁は 29 年度のアンケートをもとに考察をしたが、30 年度の新コースになった場合、このような意見があったと記述してはどうか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>コミュニティバス運行前に町民アンケートを実施したときに、高齢者の方から行動する行先を聞き、買い物としてはハンビータウン、日常的には病院や老人福祉センターが挙げられバス停の配置を決めた。町民の 7 割が自動車を持っている中で、利用される方の意見を反映してバス停を決めてきた。平成 30 年度に取ったアンケートでは、家族に気兼ねなく外出できるようになったと回答をもらっている。</p>
<p>委員：</p>	<p>観光交通の話が出ましたが、北谷町は町域が狭く観光客は広域で動いている。しかし住民は目的地が違って来る。両者を満たそうとすると使い勝手の悪いものになってしまう。利用者を見ると住民を優先するべきだと思う。ターゲットを住民に絞っていいと思う。住民の中でも、平日と休日で利用者の層が異なっている。例えば平日と休日でコースを変えることもできるだろう。同じ平日でも朝夕でコースを変えることもできるのではないか。ターゲットと時間を考えながらルートを変動することも検討の余地があるかと思いきい意見として述べさせていただきました。</p>
<p>議長：</p>	<p>各委員からいくつかの提案がありましたが、次年度以降どのように進めていくのか審議を進めていきたいと思います。</p>
<p>事務局：</p>	<p>議題（2）平成 31 年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画について（報告）</p>
<p>議長：</p>	<p>30 年度までが実証実験の目途となっていました。町民からの意見もあり、33 年度まで実証実験を伸ばすことを考えることになった。31 年度はこれまでのルートを基本にした実証実験を行っていくことで、利用実態</p>

	<p>に即したうえで、運行を効率化し、利用者の利便性の向上と行政負担額の低減を方針として進めていく。ただし、32年度以降に利用率が上がらなければ、劇的に運行計画を変えなければならない。こういった基準の場合には、劇的な変更をするのかを予め周知する必要があるということで、見直し基準を31年度にお知らせしていく。</p>
<p>委員：</p>	<p>ただ今の事務局からの高齢者を対象にするのであれば、町老連に約1000人の会員がいますので、会員にアンケートを取ってはどうか。車を運転される方、免許を返還した方など、事細かな意見を収集できるのではないかと。自治会を通して高齢者の方がアンケートに参加することがないので、町老連の玉城会長を中心としたアンケートをとるのが良いのではないかと思います。見直しのところで31年5月1日に無料乗継券、回数券の導入がありましたが、31年度のほうも無料乗継券と回数券は引き続きあるのでしょうか。あるのであれば追記していただきたいと思います。また、33頁の商業施設のところにサンエーハンビータウン店を追記して下さい。一番利用しているのがサンエーハンビータウン店です。美浜だけの話をすると、美浜の公民館で乗りハンビータウンに行くことが難しい順路になっているので観光情報センターに一度歩いていき、そこからハンビータウンに行く人がいるので、美浜の乗り継ぎが若干減っていると思います。</p>
<p>事務局：</p>	<p>商業施設はそうように追記します。アンケートにつきましては前向きに検討したいと考えています。無料乗継券と回数券については次年度そのまま運用するように考えています。ハンビータウンの利用は確かに減っています。これは乗り継ぎしてまで行く需要が少なく、直接行けるほうが、需要が高いことが分かりましたので、新コースでは同水準に戻したいと思っています。</p>
<p>委員：</p>	<p>デマンドを導入することを前提に、コースを短くして所要時間を短くして利用しやすくすることは検討できないのか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>利用者数の多いところに絞り路線を短くし、1時間に1本出るような案も検討はしていました。しかし、31年度からコースを短くすることは時期尚早と考えています。今後はそういったことを本格運行するに向けて調査を進めていくと考えています。31年度に検証を進めて、32年度には大きな変更を行う可能性も含めて検討していく。</p>
<p>委員：</p>	<p>ホテルが建設されレンタカーが増えることで渋滞が懸念されるので、交通状態も考えていかなければならない。渋滞も考慮しないとイケないのではないのでしょうか。渋滞緩和の部分も検討いただきたい。</p>
<p>議長：</p>	<p>コミュニティバスも時間帯によって渋滞で送れることもあるのか。</p>

事務局：	平日の夕方と土日祝日の午後はハンビーの通りが渋滞して遅れることもある。
議長：	これはコミュニティバスだけで解決できる問題ではないですが、交通の体系や道路の問題もありますので、町全体で考えていきます。
委員：	アンケートの取り方で、例えば広報誌や web アンケートなど利用されない町民全体の意見を聞くアンケートを検討してはどうか。どうして利用しないのか知る必要がある。
事務局：	平成 29 年度には町内住民向けにアンケートを実施した。アンケートの取り方はいろいろあると思いますので、町民の意見の収集方法は様々な形式を検討していきたいと思います。
議長：	他に意見がないようであれば、事務局から提案がありました項目につきまして、整理をして皆様のご了解をいただきたいと思います。まず 30 年度までの実証運行を 33 年度まで伸ばしていきたいということ、また 31 年度は現行の運行コースを参照しながら、32 頁に提案してあるコースを進めさせていただきたい。その間、財政的な面から見直し基準を 31 年度の間、町民の皆様にご周知を図り、それでも基準を満たさなければ 32 年度、33 年度はあらゆる手段を選択して交通体系を検討してくということを進めていくことでよろしいでしょうか。
	委員～異議なし～
議長：	事務局から提案がありました、31 年度北谷町コミュニティバス実証運行実施計画は本委員会では承認するという事で決定したいと思います。
	4. 今後のスケジュールについて
事務局：	31 年度の実施計画につきまして承認いただきありがとうございます。今回の承認を受けまして、運行事業者の選定手続きに入りたいと考えております。その後、各種広報作業等を実施したうえで、31 年 6 月 1 日には新ルートの切り替えを実施したいと考えております。桑江 17 号線について改良工事中ということで、交通管理者からのご意見はよろしいでしょうか。
委員：	現在工事を進め道幅を広げておりますが、懸念されているのが、道路事情が大きく変わってきます。国体道路から 1 本新しい道が開通したことで交通の流れが大きく変わり、信号機を設置して欲しいなど意見が上がってきておりますが、すぐにできるものではありません。このように人の流れ、車の流れが大きく変わってきますので、桑江 17 号線開通を見越した検討をする必要があると思われま。
議長：	桑江 17 号線を改修しており、開通が 5 月頃の予定となっております。開通に伴いコミュニティバスを元のコースに戻す計画となっております。交通

議長：	<p>量も増えてくると思いますが、協議調整をしながら基本的にはこのコースで進めさせていただきたい。そのような状況ですので、交通関係の部分の調整ではよろしくお願いいたします。</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p> <p>以上を持ちまして会議を終了します。</p>
-----	--